

# UCCX の SPAN ベースのサイレント モニタリングの設定例

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[外部 スイッチ タギング](#)

[VMware 設定](#)

[Catalyst 6500 スイッチポート設定](#)

[vSwitch1 設定](#)

[VM ネットワーク 2 設定](#)

[一般的な ネットワーク考慮事項](#)

[完全なスイッチ設定](#)

[バーチャル スイッチ タギング](#)

[Catalyst 6500 スイッチポート設定](#)

[VMware 設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

この資料 describes Cisco Unified Contact Center Express ( UCCX ) のスイッチ型ポートアナライザ ( SPAN ) ベースの無音モニタリングを設定する 2 つの異った方法。最初の方式は外部 スイッチ タギング ( EST ) を使用することであり、第 2 方式はバーチャル スイッチ タギング ( VST ) を使用することです。2 間の違いは VLAN タギングが外部 スイッチかバーチャル スイッチで、起こるところにです。スイッチ インターフェイス コンフィギュレーション、また VMware vSwitch コンフィギュレーションのこれ、外観を判別するため。

**注:** スパン ベースの記録を設定するために、Unified Computing System ( UCS ) Cシリーズ サーバを使用することは必要ですまたは設定はサポートされていないです。さらに入カスパンをサポートしないので、Cisco Catalyst 2950 および 3650 シリーズ スイッチ およびそれ以前はソリューションによって参照されるネットワーク設計 ( SRND ) に基づいてサポートされません。

## 前提条件

## 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- UCCX バージョン 8 または それ 以降
- Cisco IOS<sup>®</sup> スイッチ設定
- VMware 設定

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- UCCX バージョン 8 および それ 以降
- VMware ESXi バージョン 4.x および それ 以降
- Cisco Catalyst 6500
- Cisco UCS-C220-M3

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 外部 スイッチ タギング

### VMware 設定

ESXi 管理ネットワークおよび他のサーバ要素が物理的に分かれるようにして下さい。UCCX の場合には、1:1 マッピングが必要となります。

**物理的な Network Interface Cards ( NIC ) > 接続される UCCX サーバだけの個々の vSwitch > 固有のポートグループ。**

物理的で、論理的な分離があるところに設定例はここにあります- vmnic0 は一般目的仮想マシン ( VM ) および ESXi 管理 接続に vSwitch0 に vmnic1 は UCCX VM に vSwitch1 に割り当てられるが、割り当てられます。

### Catalyst 6500 スイッチポート設定

```
Interface GigabitEthernet1/1
Description Connection to UCCX VM
Switchport
Switchport mode access
Switchport access vlan 500
```

VLAN タギングが VMware vSwitch で実行されたことに注意して下さい。それぞれに割り当てられるユニークな仮想マシン ネットワーク インターフェイス カード ( VMNICs ) が付いている 2 つの vSwitches は ESXi 管理ネットワーク、また UCCX VM を隔離するために使用されます。また Catalyst 6500 のインターフェイスが VLAN 500 のタギングを有効にする アクセス ポートで

設定されることに注目して下さい。

## vSwitch1 設定

- セキュリティ設定の混合モードを受け入れて下さい。
- この vSwitch に割り当てられる 1 VMNIC を持つためにだけ確かめて下さい。UCCX 8+ は NIC 団結をサポートしません。

## VM ネットワーク 2 設定

- VLAN ID が None(0) に設定されることを確かめて下さい。

注: VLAN ID が設定される場合、他の VLAN からの他のパケットはすべて無視され、渡されません。

- セキュリティはスイッチのプロパティからの混合モードを受継ぐ必要があります。
- UCCX Cisco デスクトップ管理者で、デスクトップ モニタリングが VoIP モニタリング サービスでディセーブルにされて設定されることを確認して下さい。

## 一般的な ネットワーク考慮事項

Catalyst 2950 および 3650 シリーズ スイッチ およびそれ以前はサポートされません。

物理的な スイッチで、接続する宛先ポートはアクセス モードおよびないトランクに専用 UCCX VMNIC への UCS サーバあります。それぞれ、スイッチポートは UCCX VLAN のデータトラフィックのために設定する必要があります。

個々のスイッチポートのアクセス VLAN のために設定されるように UCCX サーバーのデータ VLAN の VLAN のためのスイッチ内の静的なアドレス解決プロトコル (ARP) エントリを作成することを推奨します。

注: これはスイッチのおよびないスイッチポート レベルの特権設定で設定されます。

## 完全なスイッチ設定

UCCX の UCS サーバが接続される UCCX のためのモニタ 設定が VLAN 500 ネットワーク レンジで当たる プロダクション スイッチの例はここにあり。

```
Gig1/1 is the UCCX interface on VLAN 500
Gig1/2 is the ESXi management network on VLAN 502
```

All voice traffic is on VLAN 400

Mac address: 0000.aaaa.bbbb is the mac address of the UCCX server. CONNECTION TO UCCX SERVER

```
Interface GigabitEthernet1/1
Description Connection to UCCX VM
Switchport
Switchport mode access
Switchport access vlan 500 (VLAN of UCCX server)
```

CONNECTION TO ESXi MANAGEMENT NETWORK:

```
Interface GigabitEthernet 1/2
Description Connection to ESXi Management Network
Switchport
Switchport mode access
Switchport access vlan 502 (VLAN of ESXi management network and other VMs)
```

```
Static MAC arp entry
Mac-address-table static 0000.aaaa.bbbb vlan 500 interface GigabitEthernet1/1 auto-learn
```

```
RSPAN monitor Session:
Monitor session 40 source vlan 400 (vlan of all voice traffic)
Monitor session 40 destination interface gil/1 ingress learning (interface of UCCX)
```

## バーチャル スイッチ タギング

### Catalyst 6500 スイッチポート設定

```
interface GigabitEthernet1/25
description ESXi vmnic0 on C-series server
switchport
switchport trunk encapsulation dot1q
switchport trunk allowed vlan 15, 500
switchport mode trunk
switchport nonegotiate
spanning-tree portfast edge trunk
```

### VMware 設定

注: VLAN タギングは vSwitch ポートグループ レベルで実行された。外部スイッチのインターフェイスは VLAN 15 および 500 のすべてのパケットを転送するトランク モードにあります。

この例では、UCCX VM ネットワークアダプタは UCCX ネット ポートグループに割り当てられます。

UCCX ネット ポートグループは VLAN ID 500 とタグ付けされます。vSwitch0 は今 VLAN タギングを行います。

混合モードは UCCX ネット ポートグループで同様に設定されます。

UCCX ネット ポートグループ アクティブなアダプタはまた 1 個のただアダプタを使用するために設定され、他は未使用に設定されます。

ポートグループレベルの設定が vSwitch グローバルコンフィギュレーションを無効にすることに注意して下さい。 行う変更をポートグループにだけ適用します。

アップストリームレベルのローカルSPAN またはリモートSPAN セッションの設定は変わりません。

## 確認

コンフィギュレーションを確認するために、前例とセットアップを比較できます。

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。